

令和5年度 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク総会

《 次期開催地挨拶 》



射水市 磯部 賢 副市長

皆さんこんにちは、御紹介いただきました。富山県射水市の副市長の磯部でございます。今日の総会のご隆盛まことにおめでとうございます。

今日に至るまで、ご当地浜田市の久保田市長さんをはじめ、事務局の皆さん、関係の皆さんには心から感謝を申し上げたいと思っております。

そして先ほどは、次期開催地が富山県の射水市ということで御承認いただきまして、まことにありがとうございます。調べてみますとちょうど25年前、まだ射水市として合併する前ですが、富山県は新湊市で1度総会を行われているということで、25年ぶり2回目ということになるかと思っております。

今日は射水市含め富山から6人、こちらの方へ参っている次第でございます。

せっかくの機会でございますので、少々富山県射水市の事をご紹介させていただきたいと存じますが、富山県そのものが日本海側のちょうど真ん中あたりに位置しまして、能登半島に囲まれるように立地しております。

射水市はその富山県の中でも一番大きな富山市と2番目に大きな高岡市のちょうど中間にありまして、地理的には北の富山湾に面して国際拠点港湾である伏木富山港新湊地区、これを富山新港と申しております。それが位置しておりまして、その周辺には400ヘクタール余りの臨海工業地域があり、ここにはアルミサッシの工場であるとか、薬品会社などが立地しています。そのさらに南側には水田地帯が広がりまして、丘陵部には、ご当地浜

田にもございますが、県立大学あるいは県の試験研究機関、そしてさらにはゴルフ場も3つぐらいあるといったところがございます。

とりわけ地理の特徴としましては、あちらにだいたい色の夕焼けの風景のポスターを持ってきていますが、あれは新湊地区、我々射水ベイエリアと言っておりますが、内川というところで、北前船がかつては出入りしたところでありまして川であり、運河であり、漁港であると、そして両側に船が並んでいるので、ある方がこれは日本のベニスじゃないかというようなことをおっしゃったようなこともあります。

それから、その右側のポスター、青いポスターがございます。あれはバックに見えるのは立山劔岳でございますが、その手前に日本海側では一番大きいと言われております、斜張橋新湊大橋でございます。ちょっと写真では見えづらいのですが、そのふもとは初代帆船海王丸が係留されている海王丸パークというのもございます。そういったところでございますが、ご当地浜田市のように、ノドグロほど有名なお魚、種類の豊富なお魚はありませんが、それなりに我々としては珍しいシロエビですとか、ホタルイカ、ブリ、ベニズワイガニ、そういった海の幸も大変豊かなところでございます。

どうか来年の総会・シンポジウムに向けまして、浜田市さんあるいは事務局の方からも教えをいただきながら、しっかり準備を整えてまいりますので、どうか来年は皆様でぜひ富山県射水市のへお越しいただきますようお願い申し上げますご挨拶とさせていただきます。どうかよろしく申し上げます。